

## 事業内容

### ①展示機器代替整備

無し

### ②演示機器定期整備

博物館内の演示機器類を良好な状態で運用するための定期的な整備を各実施した。

#### a. Q&Aシアターの整備

クイズ形式で学習を進める映像システムであるが、光ディスクプレーヤーをはじめ周辺機器の点検整備を行った。

実施日：上期 平成19年7月17日

下期 平成19年12月4日

#### b. 操船シミュレーションの整備

実機の操船機器とコンピュータグラフィックを用いた操船システムで好評の展示コーナーの一つで、半年毎にシステムを点検し、映像ソフトの損傷やバグの発生を防止し、良好な維持を行った。

実施日：上期 平成19年7月17日

下期 平成19年12月4日

#### c. 船長ロボットの整備

羊蹄丸展示物なかでマスコット的な可動人物模型であって、空気圧を動力としており駆動素子や構成部材の保全整備を行った。

実施日：上期 平成19年7月13日

下期 平成19年12月11日

#### d. シーアンドシップワールド及び青函ワールドの整備

羊蹄丸の主要展示コーナーであり、実寸大のジオラマを用いた展示手法のため展示物品の損傷が進み易く定期的に保全整備を行った。

実施日：上期 平成19年7月13日

下期 平成19年12月19日

#### e. 展示品保険料

展示場における展示品への保険の付保を行った。

実施期間：平成19年4月1日～平成20年3月31日

### ③展示品保守業務委託

19年度より休館日を除いた専従技術員2名の派遣を受け、博物館展示品の保守管理に努めた。

当該業務は展示場における日常の保守管理全般を行うもので、主たる業務は毎日の展示機器・照明の立上げ、立ち下げならびに展示物の清掃等の定型的作業から演示機器の修理調整や模型の修理、説明パネルの修復など多岐にわたっている。

特に、動態展示物の分解修理や展示物支持架台の補強といった機械工作、大工仕事等の営繕作業、電子機器類の修理・調整等は高い専門性を必要としている。年間を通じこれらの作業の繰り返しであるが、主要な展示物は年間計画に従って定期保守整備を行い、正技術員2名（休館日を除く）には専門性の高い作業を主体に、また副技術員（週2日勤務）には管球類の交換、展示物の清掃などの一般的作業を主体に実施した。

休日や夏休み期間中は主としてラジコン船コーナーに常駐して同コーナーの電子機器の保全に従事した。

毎日の作業は日報で報告を受け、1年分を保管している。

契約日：平成19年4月1日（3社見積合わせによる業者選定を行い、最低価格業者と契約締結のうえ実施した。）

実施期間：平成19年4月1日～平成20年3月31日

完了日：平成20年3月31日

#### ④ボランティア活動

船の科学館に初めてボランティアを受入れてから12年が経過し、博物館活動を行っていくうえで重要な存在になっている。

組織としては、商船大学OBの海洋会（35名）、旧東海銀行OBの東友会（6名）、木造帆船模型同好会のザロップ（21名）、元宗谷乗組員（8名）、元青函連絡船の乗組員等（16名）、2月からは帆船愛好会のソルティフレンズ（21名）を加え登録人数は総勢107名になった。

活動内容として、専門知識を生かした来館者への対応、船の科学館で行われる様々な行事の手伝い、来館者への館内施設の案内等を行った。新しい試みとして海や船のことを来館者により理解していただく行事として海洋会、宗谷のボランティアの方々と「海の男のギャラリートーク」を開催し、34回1,038名の参加者があり好評を博した。

実施期間：平成19年4月1日～平成20年3月31日（休館日除く）

延活動人数：1,071名

#### ⑤博物館施設の運用保守管理

##### a. 船の科学館施設の運用保守管理

船の科学館施設の運用保守管理については、博物館事業の円滑な運営に

資するとともに、来館者への快適な博物館施設環境維持に努めた。

契約日：平成19年4月1日（4社見積合わせによる業者選定を行い、最低価格業者と契約締結のうえ実施した。）

実施期間：平成19年4月1日～平成20年3月31日

完了日：平成20年3月31日

b. 昇降機保守点検

昇降機保守点検については、本館エレベーター、羊蹄丸エレベーター、羊蹄丸エスカレーターの各設備とも、それぞれ年間契約に基づき、本館エレベーターについては月2回、羊蹄丸のエレベーター及びエスカレーターについては月1回の定期点検を実施するとともに、不具合等緊急時の対応など、博物館運営に支障のないよう適正な設備管理を行った。

契約日：平成19年4月1日（羊蹄丸エレベーター、羊蹄丸エスカレーターについては、設備の性格上確実な安全を求められるので、当該設備施工業者による随意契約とした。）

実施期間：平成19年4月1日～平成20年3月31日

完了日：平成20年3月31日

c. 消防設備点検

消防設備点検については、前年と同条件のため前年度契約書の自動延長条項に基づく1年自動更新とした。また、関連設備の軽度な不具合等については、その都度点検調整を実施するなど、博物館施設の適正な安全環境の維持に努めた。

契約日：平成19年4月1日（3社見積合わせによる業者選定を行い、最低価格業者と契約締結のうえ実施した。）

実施期間：平成19年4月1日～平成20年3月31日

完了日：平成20年3月31日

d. ビル管理システム保守点検

ビル管理システム保守点検については、年間契約に基づき、平成19年8月及び平成20年3月に総合定期点検を実施するとともに、不具合発生 の都度緊急修理を実施するなど博物館運営に支障のないよう適正な設備管理を行った。

契約日：平成19年4月1日（2社見積合わせによる業者選定を行い、最低価格業者と契約締結のうえ実施した。）

実施期間：平成19年4月1日～平成20年3月31日

完了日：平成20年3月31日

e. 自動扉保守点検

自動扉保守点検については、年間契約に基づき、4回（平成19年6月、

9月、12月、平成20年3月)の定期点検を実施するとともに、不具合発生都度調整を行う他、主要部品交換を伴う不具合等については点検実施に合わせて契約外の別途修理を行うなど、博物館運営に支障のないよう適正な設備管理を行った。

契約日：平成19年4月1日（自動扉は設備の性格上確実な安全を求められるので、当該設備施工業者による随意契約とした。）

実施期間：平成19年4月1日～平成20年3月31日

完了日：平成20年3月31日

f. ごみ管路収集設備保守点検

ごみ管路収集設備保守点検については、年間契約に基づき、3回（平成19年4月、7月、11月）の定期点検を実施した他、平成20年1月に年次精密点検を実施した。軽度の不具合調整については、契約作業としてその都度実施するなど、博物館運営に支障のないよう適正な設備管理を行った。

契約日：平成19年4月1日（2社見積合わせによる業者選定を行い、最低価格業者と契約締結のうえ実施した。）

実施期間：平成19年4月1日～平成20年3月31日

完了日：平成20年3月31日

g. 羊蹄丸可動歩廊点検

羊蹄丸可動歩廊点検については、年間契約に基づき、2回（平成19年7月、平成20年1月）の定期点検を実施した他、不具合箇所部品交換等をその都度別途実施するなど、羊蹄丸乗降設備の安全確保を行った。

契約日：平成19年4月1日（契約金額が少額であるため、過去に実績のある業者と随意契約とした。）

実施期間：平成19年4月1日～平成20年3月31日

完了日：平成20年3月31日

h. 電話交換機保守点検

電話交換機保守点検については、年間契約に基づき、定期点検を毎月実施するとともに、軽度の制御ソフト変更をその都度実施するなど博物館運営に支障のないよう適正な設備管理を行った。

契約日：平成19年4月1日（契約金額が少額であるため、過去に実績のある業者と随意契約とした。）

実施期間：平成19年4月1日～平成20年3月31日

完了日：平成20年3月31日

i. 玄関シャッター点検

玄関シャッター点検については、年間契約に基づき、2回（平成19年

6月、12月)の定期点検を実施した他、不具合時の対応を含め円滑な博物館運営のため適正な設備管理を行った。

契約日：平成19年4月1日(契約金額が少額であるため、過去に実績のある業者と随意契約とした。)

実施期間：平成19年4月1日～平成20年3月31日

完了日：平成20年3月31日

j. 受変電設備点検

受変電設備点検については、設備特性及び作業コスト節減のため船の科学館本館受電設備特高圧部、同低圧部、羊蹄丸受電設備の3区分に分割して見積合わせによる業者選定を行い、最低価格業者と契約締結のうえ、平成19年12月28日の年末休館日に全館停電の下で設備法定点検整備を行った。また、停電に合わせた不具合箇所の調査、補修等についても点検作業と合わせて本事業内業務とし整備するなど博物館運営に支障のないよう適正な設備管理に努めた。

船の科学館受変電設備定期点検工事〔特高圧部〕

契約日：平成19年12月8日

実施日：平成19年12月28日

完了日：平成19年12月28日

船の科学館受変電設備定期点検工事〔低圧部〕

契約日：平成19年12月8日

実施日：平成19年12月28日

完了日：平成19年12月28日

羊蹄丸受変電設備定期点検工事

契約日：平成19年12月8日

実施日：平成19年12月28日

完了日：平成19年12月28日

k. 羊蹄丸栈橋ボードデッキ整備

2社見積合わせによる業者選定を行い、最低価格業者と契約締結のうえ実施した。

契約日：平成20年2月29日

完了日：平成20年3月25日

⑥展示及び図書資料管理用機器等の更新

展示及び図書資料管理用コンピュータ機器を新規に購入し、従来の資料管理システムを同機器に対応させるための改修を実施した。

⑦展示コーナー整備

マラッカ海峡展示映像を制作し、2階展示場「にっぽんの海」コーナーに同映像を上映するモニター取付壁面を制作し、同コーナーの子供用解説シート3種2,000部の制作を実施した。また、寄託資料「縄文の丸木舟」(実物)の展示ケースを制作し、3階展示場「和船」コーナーに設置した。

⑧収蔵資料の電子化および公開

契約日：平成20年3月7日

納品日：平成20年3月29日

**事業目標の達成状況**

①展示機器代替整備

展示場監視カメラ設置については、取り止めた。(12月15日変更済)

②演示機器定期整備

博物館内の演示機器類を良好な状態で運用するための定期的な整備を実施したことにより、来館者への快適な展示環境を提供することができた。

③展示品保守業務委託

博物館展示機器の保守業務を担当する要員を毎日2名(休館日を除く)配置し、業務を委託したことにより、展示機器類の保守及び不具合等に対する迅速な対応ができ、来館者への快適な見学環境を提供することができた。

④ボランティア活動

博物館業務に係るボランティアを受け入れたことにより、来館者による質問等への対応など海事科学知識の普及活動をより充実したものとすることができた。

⑤博物館施設の運用保守管理

船の科学館施設の運用保守管理業務を24時間体制でビル管理会社に委託するとともに、諸設備の法定点検、定期保守点検等を設備メーカー、専門保守管理会社と契約委託してできるだけ健全な施設環境を確保することにより、来館者へ適正かつ快適な見学空間を維持提供することができた。

⑥展示及び図書資料管理用機器等の更新

展示及び図書資料管理用コンピュータ機器を新規に購入し、従来の資料管理システムを新規機器に対応させるための改修をしたことにより、展示及び図書資料を管理する健全なシステム環境を整えることができた。

⑦展示コーナー整備

2階展示場「にっぽんの海」コーナーのマラッカ・シンガポール海峡展示情報を補完するためにマラッカ海峡展示映像を制作するとともに、同映像を上映するモニター取付壁面の製作を行った。さらに、同コーナーの子供用解説シートを制作配布することにより、同コーナーのポイントをより理解しやすいものに整備することができた。また、寄託資料「縄文期の丸木舟」（実物）の展示ケースを制作し3階展示場和船コーナーに設置したことにより、同コーナーをより充実した展示場にすることができた。

⑧収蔵資料の電子化および公開

保存の観点から常設で展示ができない資料やそれ自体の長さや大きさなどから展示が難しい貴重な資料の一部について本年度電子化した資料を展示場において公開するとともに、インターネット上でも逐次公開していくことが可能となった。